

定期作況報告

平成28年9月
(9月20日現在)

北海道立総合研究機構 北見農業試験場

1. 気象経過

8月下旬：最高気温は平年並で、最低気温は平年より極めて高く、平均気温は平年より高かった。降水量は平年より極めて多かった（平年比406%）。日照時間は平年よりやや少なかった（平年比74%）。

9月上旬：最高気温は平年よりやや低く、最低気温は平年より高く、平均気温は平年並であった。降水量は平年より多かった（平年比161%）。日照時間は平年より少なかった（平年比50%）。

9月中旬：最高気温は平年より低く、最低気温は平年並よりやや低く、平均気温は平年より低かった。降水量は平年より少なかった（平年比50%）。日照時間は平年並であった（平年比89%）。

以上のことから、この1か月間（8月下旬～9月中旬）は、気温は平年並で、降水量は平年より多く、日照時間は平年よりやや少なかった。

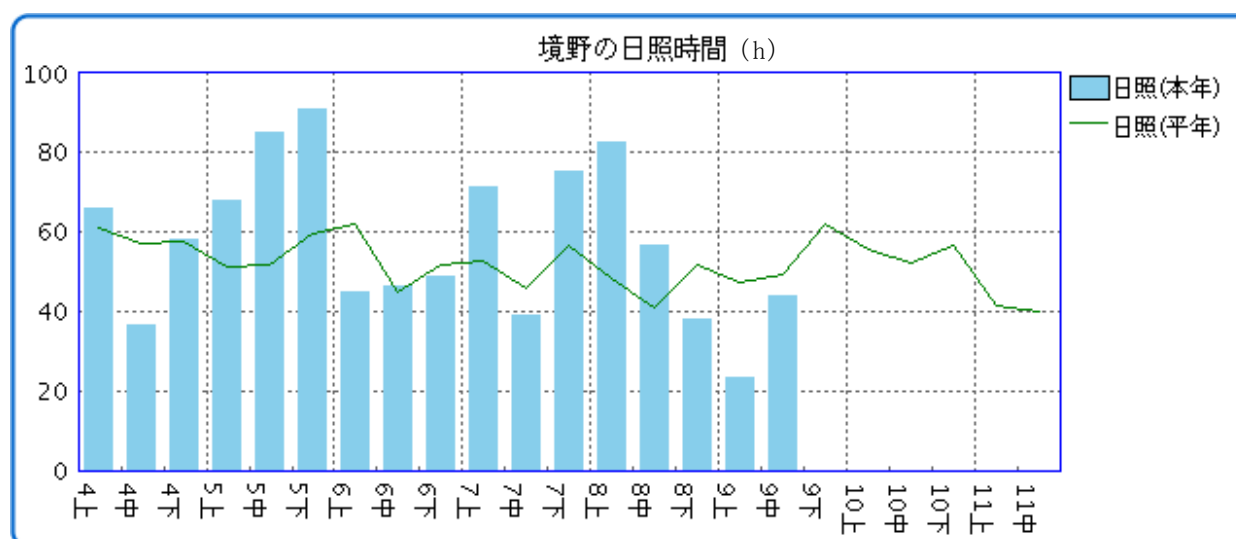
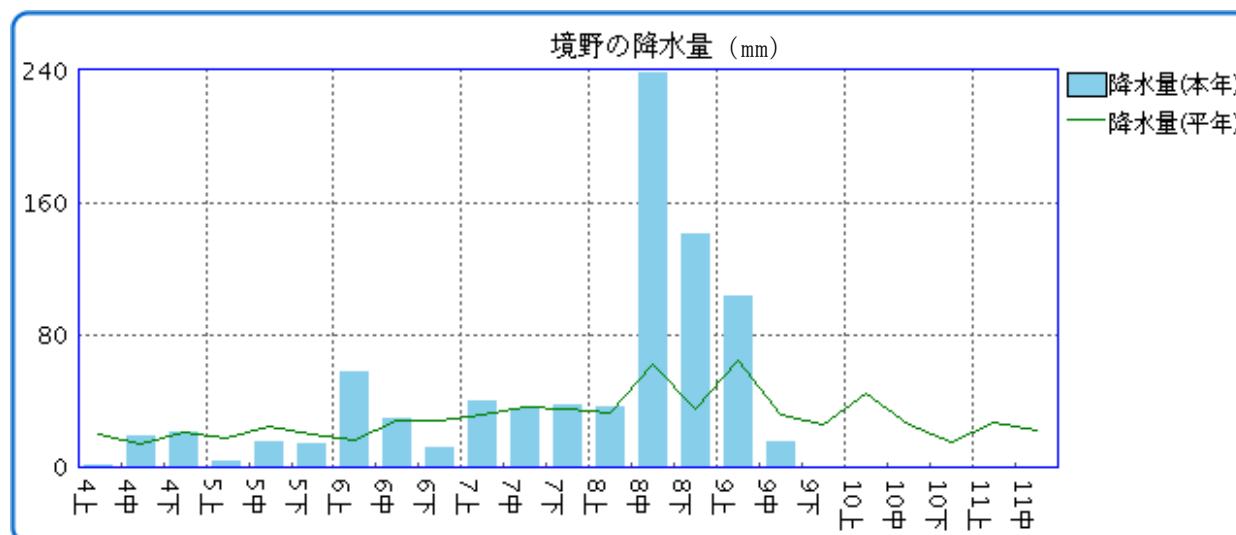
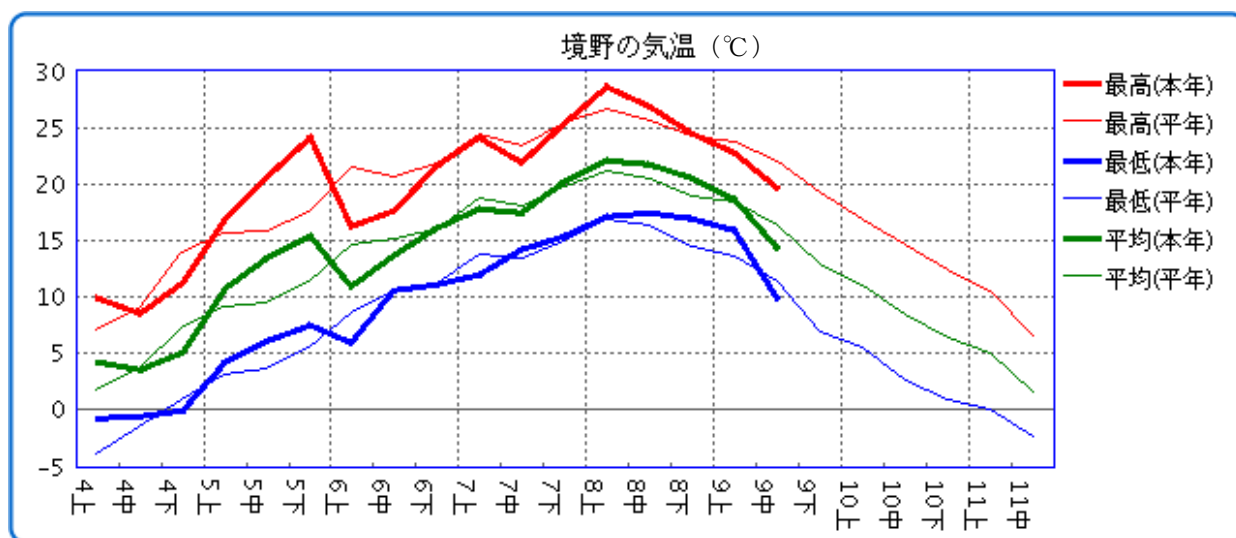
気 象 表

| 月 旬 | 平均気温(°C) | | | 最高気温(°C) | | | 最低気温(°C) | | |
|--------|----------|-------|------|----------|-------|------|----------|-------|------|
| | 本年 | 10年平均 | 比較 | 本年 | 10年平均 | 比較 | 本年 | 10年平均 | 比較 |
| 8月 下旬 | 20.5 | 18.9 | 1.6 | 24.5 | 24.2 | 0.3 | 16.9 | 14.4 | 2.5 |
| 9月 月上旬 | 18.7 | 18.4 | 0.3 | 22.7 | 23.7 | -1.0 | 15.9 | 13.7 | 2.2 |
| 9月 月中旬 | 14.3 | 16.4 | -2.1 | 19.7 | 22.1 | -2.4 | 9.9 | 11.4 | -1.5 |

| 月 旬 | 降水量(mm) | | | 日照時間(hr) | | |
|--------|---------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | 本年 | 10年平均 | 比較 | 本年 | 10年平均 | 比較 |
| 8月 下旬 | 140.5 | 34.6 | 105.9 | 38.1 | 51.7 | -13.6 |
| 9月 月上旬 | 103.5 | 64.4 | 39.1 | 23.5 | 47.1 | -23.6 |
| 9月 月中旬 | 15.5 | 30.9 | -15.4 | 43.8 | 49.3 | -5.5 |

注) 観測値は置戸町境野のアメダスデータである。

10年平均は前10か年間の平均値である。



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、オホーツク管内全体を代表するものではありません。

1) 春まき小麦 作 況：やや良

事 由：穂数が平年を大きく上回ったことから、子実重は平年比106～120%と多収であった。しかし、穂数が多く倒伏程度が甚であったことから、子実は充実不足となり、リットル重と千粒重は平年を大きく下回った。また、「春よ恋」では発芽粒がわずかに認められた。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

| 調査項目 | 春よ恋 | | | はるきらり | | |
|-------------|------|------|-------|-------|------|-------|
| | 本年 | 平年 | 比較 | 本年 | 平年 | 比較 |
| 子実重(kg/10a) | 579 | 481 | 98 | 522 | 493 | 29 |
| 同上平年比(%) | 120 | 100 | 20 | 106 | 100 | 6 |
| リットル重(g) | 789 | 806 | △ 17 | 772 | 812 | △ 40 |
| 千粒重(g) | 34.3 | 39.8 | △ 5.5 | 33.7 | 42.8 | △ 9.1 |

注) 平年値は前7か年中、平成21年(最凶)、27年(最豊)を除く5か年の平均。

2) とうもろこし(サイレージ用) 作 況：やや不良

事 由：9月20日の稈長は平年を32cm下回っている。抽糸期は平年より1日遅かったが(前報)、抽糸期後9月上旬にかけての気温が全般に平年並か高い傾向で推移したことから、登熟は概ね平年並に進んでいると推測される。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

| 調査項目 | チベリウス | | |
|----------------|-------|-----|-----|
| | 本年 | 平年 | 比較 |
| 稈長(cm) (9月20日) | 247 | 279 | △32 |

注) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、25年(最凶)を除く5か年の平均。

3) 大豆

作 況：やや不良

事 由：8月中旬～9月上旬の多雨の影響で、全面的にかなりの倒伏が発生しており、主茎長、主茎節数、分枝数はいずれも平年を下回っている。着莢数は概ね平年並であるが、倒伏と9月中旬の低温により登熟は遅れており、粒大や子実品質への影響が懸念される。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

| 調査項目 | ユキホマレ | | |
|------------------|-------|------|-------|
| | 本年 | 平年 | 比較 |
| 成熟期 (月.日) | | 9.23 | — |
| 主茎長(cm) (9月20日) | 69.0 | 73.2 | △ 4.2 |
| 主茎節数(節) (9月20日) | 10.3 | 11.3 | △ 1.0 |
| 分枝数(本/株) (9月20日) | 5.2 | 5.5 | △ 0.3 |
| 着莢数(莢/株) (9月20日) | 66.1 | 68.6 | △ 2.5 |

注) 平年値は前7か年中、平成21年(最凶)、23年(最豊)を除く5か年の平均。

4) 小豆

作 況：やや不良

事 由：8月下旬の気温がやや高かったため「エリモショウズ」では生育および着莢数は平年並に回復したが、「サホロショウズ」ではいずれも平年を下回っている。9月上旬の日照不足と9月中旬の低温により登熟は平年より遅れており、9月20日現在、「サホロショウズ」は成熟期に達していない。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

| 調査項目 | サホロショウズ | | | エリモショウズ | | |
|------------------|---------|------|-------|---------|------|-------|
| | 本年 | 平年 | 比較 | 本年 | 平年 | 比較 |
| 成熟期 (月.日) | | 9.17 | — | | 9.23 | — |
| 主茎長(cm) (9月20日) | 78.2 | 86.8 | △ 8.6 | 80.2 | 75.3 | 4.9 |
| 主茎節数(節) (9月20日) | 13.1 | 13.8 | △ 0.7 | 14.3 | 14.3 | 0.0 |
| 分枝数(本/株) (9月20日) | 3.2 | 4.3 | △ 1.1 | 3.9 | 4.0 | △ 0.1 |
| 着莢数(莢/株) (9月20日) | 53.2 | 56.8 | △ 3.6 | 56.7 | 57.4 | △ 0.7 |

注) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、24年(最凶)を除く5か年の平均。

5) 菜豆

作況：不良

事由：成熟期は平年並の9月1日であった。成熟期における主茎節数は平年並であったが、草丈、分枝数および着莢数は平年を下回った。かなりの倒伏が発生している上、8月中旬以降の多雨で色流れ粒の多発が予想され、子実品質の低下が懸念される。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

| 調査項目 | 大正金時 | | |
|----------------|------|------|-------|
| | 本年 | 平年 | 比較 |
| 成熟期 (月.日) | 9. 1 | 9. 1 | 0 |
| 草丈(cm) (成熟期) | 45.1 | 50.8 | △ 5.7 |
| 主茎節数(節) (成熟期) | 5.6 | 5.3 | 0.3 |
| 分枝数(本/株) (成熟期) | 3.9 | 4.9 | △ 1.0 |
| 着莢数(莢/株) (成熟期) | 18.1 | 20.8 | △ 2.7 |

注) 平年値は前7か年中、23年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5か年の平均。

6) ばれいしょ

作況：平年並

事由：「男爵薯」では、枯ちょう期は平年より6日早い8月26日で、でん粉価は平年に比べやや低かったが、上いも重は平年並であった。「コナフブキ」では、9月中旬の気温が低かったためでん粉価は平年よりやや高かったが、日照時間が少な目に経過したため上いも重は平年を下回り、でん粉重は平年をやや下回っている。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

| 調査項目 | 男爵薯 | | | コナフブキ | | |
|----------------------|------|------|------|-------|------|------|
| | 本年 | 平年 | 比較 | 本年 | 平年 | 比較 |
| 枯ちょう期 (月.日) | 8.26 | 9.1 | △ 6 | | 10.6 | |
| 上いも重(kg/10a) (9月20日) | 4583 | 4543 | 40 | 4157 | 4900 | △743 |
| でん粉価(%) (9月20日) | 14.0 | 14.8 | △0.8 | 22.5 | 22.0 | 0.5 |
| でん粉重(kg/10a) (9月20日) | — | — | — | 894 | 927 | △33 |

注) 平年値は前7か年中、平成22年(最凶)、24(最豊)を除く5か年の平均

7) てんさい

作 況：平年並

事 由：8月中旬から9月上旬にかけての多雨の影響で、平年より根腐症状が多発した（データ未記載）が、生育への影響は小さかった。草丈、生葉数は平年をやや上回っており、茎葉重はほぼ平年並である。根重は平年並～平年を上回っており、根周は平年をやや下回っている。根中糖分は機器の故障のため欠測である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

| 調査項目 | 移植 | | | | | | 直播 | | |
|------------------|-------|-------|------|-------|-------|------|---------|-------|------|
| | モノホマレ | | | アーベント | | | リッカ（参考） | | |
| | 本年 | 平年 | 比較 | 本年 | 平年 | 比較 | 本年 | 平年 | 比較 |
| 草丈（cm）（9月20日） | 63.4 | 60.0 | 3.4 | 58.9 | 56.0 | 2.9 | 66.0 | 62.2 | 3.8 |
| 生葉数（枚）（9月20日） | 32.4 | 30.4 | 2.0 | 31.4 | 29.6 | 1.8 | 20.6 | 21.3 | △0.7 |
| 茎葉重（g/個体）（9月20日） | 744 | 747 | △3 | 771 | 779 | △8 | 620 | 720 | △100 |
| 根重（g/個体）（9月20日） | 1001 | 1017 | △16 | 1264 | 1030 | 234 | 802 | 908 | △106 |
| 根周（cm）（9月20日） | 34.0 | 35.2 | △1.2 | 33.8 | 36.7 | △2.9 | 30.7 | 33.6 | △2.9 |
| 根中糖分（%）（9月20日） | - | 14.83 | - | - | 15.14 | - | - | 14.65 | - |

注1）注平年値は前7か年中、平成26年（最豊）、22年（最凶）を除く5か年の平均。

注2）直播「リッカ」は参考品種、平年値は前6か年の平均。

8) 牧 草（チモシー）

作 況：平年並

事 由：3番草再生時（2番草刈取後25日目：8月30日）の草丈は平年並であった。1、2番草の合計乾物収量は平年比104%と平年並であった（前報）。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

| 調査項目 | | ノサップ | | |
|--------|--------|------|----|----|
| | | 本年 | 平年 | 比較 |
| 草丈（cm） | 3番草再生時 | 45 | 45 | 0 |

注）平年値は前7か年中、平成24年（最豊）、27年（最凶）を除く5か年の平均。

9) たまねぎ

作 況：やや良

事 由：8月下旬の多雨により根切り作業は遅れた。枯葉期は平年に比べ2日早かった。平均一球重は平年を大きく上回っており、肌腐れ等の腐敗がやや多かったものの、総収量は平年を上回った。変形球がやや多く規格内率はやや低かったものの、規格内収量は平年をやや上回っている。以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

| 調査項目 | スーパー北もみじ | | | オホーツク222(参考) | | | 北もみじ2000(参考) | | |
|----------------|----------|------|------|--------------|------|------|--------------|------|------|
| | 本年 | 平年 | 比較 | 本年 | 平年 | 比較 | 本年 | 平年 | 比較 |
| 根切り日 (月.日) | 9. 1 | 8.25 | 7 | 8.10 | 8.12 | △2 | 9. 1 | 8.21 | 11 |
| 枯葉期 (月.日) | 8.28 | 8.30 | △2 | 8.19 | 8.19 | 0 | 8.27 | 8.25 | 2 |
| 収穫期 (月.日) | 9. 7 | 9.10 | △3 | 8.29 | 8.29 | 0 | 9. 7 | 9. 8 | △1 |
| 総収量 (kg/10a) | 7483 | 6277 | 1206 | 8694 | 7310 | 1384 | 8257 | 6538 | 1719 |
| 規格内収量 (kg/10a) | 6451 | 5606 | 845 | 7429 | 6508 | 921 | 7138 | 6089 | 1049 |
| 同上平年比 (%) | 115 | 100 | 15 | 114 | 100 | 14 | 117 | 100 | 17 |
| 規格内率 (%) | 86 | 89 | △3 | 85 | 89 | △4 | 86 | 93 | △7 |
| 平均一球重 (g) | 277 | 218 | 59 | 303 | 239 | 64 | 291 | 211 | 80 |

注) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、25年(最凶)を除く5か年の平均。但し、参考品種は前6か年平均。